

## 令和7年度 英語科授業改善推進プラン

大田区立御園中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・習熟度別少人数指導の特性を活かし、生徒一人一人にきめ細やかな対応をした結果、全学年ともに目標値を超えることができた。基礎的な能力がついてきている。
- ・日頃からペアワークやグループワークを行い、定期的にパフォーマンステストを行ってきた。ペアワークやグループワークでは、生徒同士で助け合いながら、英語を話そうと努力していた。パフォーマンステストでは、ALT と協力し準備を行い、生徒は表現力をつけてきている。
- ・引き続き、全学年において習熟度を考慮し、ほぼ学力に偏りが少ない少人数クラスを編成し、授業内における自主的な発言や生徒間の英会話をさらに活性化させる。

#### (2) 課題

- ・各学年、基礎の正答率に対して、活用の正答率が低いので、学習したことを活用することに課題がある。
- ・観点別正答率においては、知識・技能の正答率は目標値を上回っているが、思考・判断・表現の上回り方が低い。英語を使って話したり書いたりすることが課題である。
- ・単語テストや単元テストなどの小テストを定期的に行い、学習の目標の一つにしているが、取り組み方や定着度合いの差が見られている。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	基礎や領域別の正答率は目標値を概ね上回っているが、活用と領域別の「書くこと」や「英作文」において、目標値を達成することができなかった。	/	/
第2学年	全ての分類・区分において目標値を上回った。「基礎」「活用」は全国平均を上回っているが、領域別では、「聞くこと」だけが下回った。	基礎・基本、領域別の正答率は全て目標値を上回っている。ただ、活用や、問題の内容別の英作文や英文の読み取り（聞く）において、目標値を達成することができなかった。	/
第3学年	「基礎」「活用」「領域別正答率」は全て目標値と全国平均を上回った。内容別の「場面に応じて各	「基礎」については目標値と全国平均を上回った。「聞くこと」「読むこと」の領域においては目	「基礎」「聞く」「読む」領域において目標値を上回った。「書く」「活用」の領域で目標値を下回

	書く作文」は目標値を下回った。	標値、区・全国平均を上回った。しかし「活用」「書くこと」については目標値や区・全国平均を下回っている。	っている。また、区平均をほとんどの領域で下回っている。
--	-----------------	---	-----------------------------

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に目標値を上回っている。</li> <li>・語彙力や基礎的な英語表現の聞き取りが目標値を大きく上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」は目標値を上回っている項目が多い。</li> <li>・英作文の目標値が大きく下回っているので、書く力を伸ばす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「聞くこと」に関しては、英語の音に慣れ必要な情報を理解することができる。</li> <li>・テーマについて英語で表現をしようとする問題に、最後まで取り組むことが難しい。</li> <li>・授業時では、活動や音読を積極的に取り組んでいる。</li> </ul>

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に目標値を上回っている。</li> <li>・「語彙の知識・理解」で目標値を上回っており、学習したことが定着していることが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に目標値を上回っているが、リスニングは目標を下回っている。</li> <li>・授業の中で、リスニング力を向上させる活動を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業では積極的に活動に取り組んでいる生徒が多い。</li> <li>・自分自身のことを英語で表現することが難しい。</li> </ul>

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に目標値を上回っている。特に「対話文の聞き取り」「長文の読み取り」は大きく目標値を上回った。基礎的な力が定着しているため、読解力が必要な問題に対応できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に目標値を上回っている。「場面に応じて書く英作文」が大きく下回っている。</li> <li>・場面にあった英語表現を理解し使えるようにする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考えて英語で伝える力を身に付けていかなければならない。</li> </ul>

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい文字の読み書きを重視し、基礎基本の定着を図る。</li> <li>・音読練習の回数を多くし、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯活動で語彙の定着や英語の発話を促す活動を行う。</li> <li>・ペアワークやグループワークを行い、英語を話す環境</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帯活動や英語の歌を通して、主体的に取り組める活動を行う。</li> <li>・例文や英文の暗唱を定期</li> </ul>

英語の音やリズムに慣れ、正しく音読できるようにする。 ・授業内での小テストを実施し、生徒のつまずきに気付けるようにする。	を設定する。 ・各学期にスピーチやスピーキングテストを実施し、英語の表現力をつける。	的に行い、自ら英語を発する機会を設け、発表することで学習への自信をもたせる。 ・英語で表現する課題を日々行い、学習習慣を身に付ける支援をする。
---	---	--

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ワークシートを活用し、日頃から既習事項の確認を行う。 ・単元末テスト実施し、基礎基本の定着を図る。	・定期的リスニングテストを行う。 ・スピーチなどのパフォーマンステストを行い、表現力を向上させる。	・簡単な英会話文を覚え、教師の前で発表し、英語で表現できたという自信を持たせ、学習意欲を向上させる。 ・ペアやグループワークを積極的に行い、生徒同士が学び合う機会を増やす。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ワークシートを活用し、日頃から既習事項の確認を行う。 ・日頃から既習事項を活用できる活動を取り入れる。	・毎回の授業で、簡単な長文を読み読解力を向上させる。 ・スピーチ、スキットなどのパフォーマンステストを実施し、表現力を向上させる。	・簡単な英会話文を覚え、教師の前で発表し、英語で表現できたという自信を持たせ、学習意欲を向上させる。 ・タイムリーな長文を読み、英文を読む意欲を高める。